

## 命の尊さを伝える本(令和3年)

### 1月の推薦本

・「よるのびょういん」

谷川俊太郎／著 長野重一／写真 福音館書店

おすすめコメント:

夜になってお腹が痛くなったゆたか君は救急車で病院へ運ばれます。

夜の病院で働く人々の様子と緊張感のある白黒写真で、まるでドキュメントのように胸に迫ります。

この絵本を読んで看護師さんを目指した人も。1985年初版。

(蔵書:中央、西、北図書館)

・「子どもを守る言葉「同意」って何? -YES、NOは自分が決める!」

レイチェル・フライアン／作 中井はるの／訳 集英社

おすすめコメント:

境界線は人によって違う。何かをするときは、相手が同意しているか聞いてみよう。

「いやだ」と感じたら境界線を変えたっていい。暴力やイジメから自分を守り、人を傷つけないために、大切なことを教えてくれる本です。

(蔵書:西図書館)

### 2月の推薦本

・「ビッグオーとの出会いー続僕を探しにー」

シェル・シルヴァスタイン／著書 倉橋由美子／訳 講談社

おすすめコメント:

ぴったりはまって、ころがって・・・自分は自分でいいんだよ。

大人の方にも読んでほしい絵本です。

(蔵書:中央、西、南図書館)

・「そのままのきみがすき」

マックス・ルケード／著書 セルジオ・マルティネス／画 松波史子／訳 フォレスト・ブックス

おすすめコメント:

特技がなくてもいいんです。そのままでもいいんです。

素晴らしい絵とメッセージを、子どもたちだけでなくみんなに伝えたい本です。

(蔵書:南図書館)

### 3月の推薦本

・「あいしているから」

マージョリー・ニューマン／文 久山太市／訳 パトリック・ベンソン／絵 評論社

おすすめコメント:

偶然、野生の雑鳥を保護し大事に育てたモール君。ずっと一緒に暮らしたいけど、

雛鳥が幸せになるために一番必要なこととは？

(蔵書:西、南図書館)

・「しっばいにかんばい！」

宮川ひろ／作 小泉るみ子／絵 童心社

おすすめコメント:

得意なルーで失敗し落ちこむ加奈ちゃん。

そんな加奈ちゃんに、自分の失敗話を披露し合う親戚や家族が伝える優しい言葉に励まされます。

(蔵書:中央、北、西、南図書館、あおぞら号)

## 4月の推薦本

・「あやちゃんのうまれたひ」

浜田桂子／作 福音館書店

おすすめコメント:

あなたも私も、みんなお母さんから産まれてきた。その日はこんなふうだったのかな。

(蔵書:中央、西、南図書館)

・「ひまわりのおか」

ひまわりをうえた八人のお母さんと葉方丹／文 松成真理子／絵 岩崎書店

おすすめコメント:

3.11 大川小学校を津波が襲います。突然未来を奪われた子ども達。彼等が生きたいと願った今日という日々を大切に生きていこうと思わされる本です。

(蔵書:西、南図書館、あおぞら号)

## 5月の推薦本

・「おなじそらのしたで」

フリッタ・テッケントラフ／作・絵 木坂涼／訳 ひさかたチャイルド

おすすめコメント:

いろいろ動物達が、みんな同じ空のしたで生きている。ここでも、遠くでも……命が息づくきれいな絵の作品です。

(蔵書:中央、北図書館)

・「トマスと図書館のおねえさん」

パット・モーラ／文 ラウル・コローン／絵 藤原宏之／訳 さ・え・ら書房

おすすめコメント:

メキシコ移民の子供であるトマスは、満身に学校に通うことができなかった。ある日、親切な図書館員に出会ったトマスは、本を読む喜びを初めて知り…。カリフォルニア大学学長の思い出をもとにうまれた感動のおはなしです。

(蔵書:北図書館、あおぞら号)

## ・6月の推薦本

・「あかちゃんてね」

星川ひろこ・星川治雄／著 小学館

おすすめコメント:

妹が生まれてから一歳までの成長をお姉ちゃんがお話ししてくれる写真絵本です。保育園「読み語り」の時間に読みました。何人もの園児たちが「うちのあかちゃんはおねっ！」と、きょうだいの様子を教えてくださいました。心があたたか〜くなる絵本です。

(蔵書:中央、北、西、南図書館、あおぞら号)

・「わたしのひみつ」

石津ちひろ／作 きくちちき／絵 童心社

おすすめコメント:

いろいろな事が上手にできない自分だけど、自信を持ってできることもある。それは小さい事だけど、心は晴れやかで幸せな気分になれるんだ。

(蔵書:西図書館)

## ・7月の推薦本

・「あつかったら めげばいい」

ヨシタケシンスケ／作 白泉社

おすすめコメント:

あつかったら、つかれたら、せかいがかわってしまったら、、、今ある自分のどんな状況もシリアスにならず、気楽で楽しく切り抜けちゃえばいいじゃん！と心が軽くな〜る。もう少し我慢が必要な今だけど、発想一つで楽しくなれる！

(蔵書:中央、北、西、南図書館)

・「まんじゅうこわい 落語絵本」

川端誠／作・絵 きくちちき／絵 クレヨンハウス

おすすめコメント:

いたずらする側のはずが、すっかり騙されちゃう笑い話。古典芸能だけど、子どもにも分かりやすい絵本になっているので親子で楽しい時間を共有してみては

(蔵書:中央、北、西、南図書館)

## ・8月の推薦本

・「ラヴ・ユー・フォーエバー」

ロバート・マンチ／作 梅田俊作／画 乃木いか／訳 岩崎書店

おすすめコメント:

赤ちゃん時代も、やんちゃ坊主時代も、反抗期も、母が子を思う気持ちに変わりはありません。そして年老いた母が動けなくなった時… 親から子へとつながる愛の物語。

(蔵書:北、南図書館)

・「ボクは、なんにもならない」

さとみきくお／作 しんどうけいこ／絵 いわきたかこ／訳 美術出版社

おすすめコメント:

太陽は草に、草は牛に、牛は牛乳に、牛乳はボクになる、でもボクは何にもならない。命はつながり、人間は様々な命によって生かされているということを感じさせてくれる本です。

(蔵書:南図書館)

## ・9月の推薦本

・「ネコリンピック」

ますだみり／さく ひらさわいっぺい／え ミシマ社

おすすめコメント:

自由気ままなネコたちのオリンピック。今年は東京オリンピックパラリンピックが開催されましたが、「よーいどんで走らなくていいんだにゃ〜」のネコリンピックは、いつでもどこでも始められそうです。みんなメダルがもらえます。

(蔵書:あおぞら号)

・「十二番目の天使」

オグ・マンティアー／著 坂本貢一／訳 求龍堂

おすすめコメント:

最初のページにアンテルセンの言葉が書いてあります。「すべての人間の人生が、神によって書かれた、おとぎ話である」。突然家族を失い自殺しようとしていた男が、少年野球チームの監督を引き受け、天使に出会う物語。何度読み返しても涙があふれます。

(蔵書:中央、北、南図書館)

## ・10月の推薦本

・「世界にたった一人のあなた」

パム・ライアン／作 メアリー・ホワイト／絵 橋本 和／訳 エヌ・ティ・エス

おすすめコメント:

地球上、君とまったく同じ人は見つからない。君という存在は世界にたった一人。自然と自信が湧いてくるお話です。

(蔵書:中央、西、南図書館)

・「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」

長谷川義史／作 BL 出版

おすすめコメント:

ずっとずっと昔から、ずーと繋がってるいのち。可愛い「ぼく」が会いに行くのは、お父さんのお父さんのお父さんの、、、思わずグッと笑えてしまう、タイムトラベルが始まります。

(蔵書:中央、北、西、南図書館)

## ・11月の推薦本

・「おもわず おもわず」

えがしらみちこ／作 あかね書房

おすすめコメント:

たとえ注意されても、おもわず押したくなるバスの降車ボタンやおもわず駆け出したくなる大きな広場、などなど。パパやママにもあつたはず、おもわずおもわず。

(蔵書:西、南図書館)

・「たいせつなことはみんな子どもたちが教えてくれた」

きむらゆういち／著 主婦の友社

おすすめコメント:

絵本「あらしのよるに」「いないいないばああそび」などの作者が記す'子ども'と関わり続けてきた半自伝。幼少期の絵や子育て論など読み応えあり。

(蔵書:南図書館)

## ・12月の推薦本

・「52 ヘルツのクジラたち」

町田そのこ／著者 中央公論新社

おすすめコメント:

孤独だからこそつながれる人がいる。あなたの声はきっと誰かに届きます。

(蔵書:中央、北、西、南図書館)

・「マリアのソファー」

吉本ばなな／著者 幻冬舎

おすすめコメント:

心と体の傷から多重人格になったマリア。バリ島の旅を通して、いのちの輝きを感じる一冊です。

(蔵書:中央、南図書館)